

交通安全啓発係（ひまわり号） の活動状況

1 交通安全啓発係（ひまわり号）とは？

交通安全啓発係では、警察官2名で、主に県内各地の幼稚園、保育園を対象に交通安全教育車（ひまわり号）で巡回し、園児や児童・生徒等に対する交通安全教育活動を行っています。

令和5年中は、210回、11,421人に対し、交通安全教育を実施しました。



2 具体的な活動内容は？

(1) 腹話術を活用した交通安全講話

交通安全講話では、腹話術人形「交通安全の全（ぜん）ちゃん」を使って、対話形式の講話を行っています。

子供たちが全（ぜん）ちゃんとの対話を通して、チャイルドシートやシートベルトなどの大切さを学び、交通安全は命を守る大切なことと分かるような内容となっています。



(2) 横断歩道の渡り方の実技指導

幼児、児童の歩行中の交通事故の原因の一つに、道路への飛び出しがあることから、横断歩道の正しい渡り方の実技指導を行っています。
正しい横断歩道の渡り方を繰り返し練習することで、子供たちは道路が危険な場所であると認識し、自然に「手を上げて渡る合図をする」「右・左・右を見て安全確認をする」などの習慣を身につけるようになります。



(3) 各種イベントへの参加

保育園、幼稚園や学校等での交通安全教育のほか、様々なイベントに参加し交通安全教室を実施しています。

下の写真は、

◎ 鹿児島市で開催されたイベント「青空スクール」

◎ 鹿児島市で開催されたイベント「黄色いワッペン贈呈式」

における交通安全教室の状況です。

